

# 第17回 長南町過疎対策検討委員会議事録（要旨）

平成25年11月6日（水）  
庁舎分館2階第一会議室  
18時40分から

出席者 過疎対策検討委員会委員10名  
事務局 石橋総務課長、常泉室長、小澤  
会議資料

- ・提言4 農業経営のイノベーションによる雇用の創出と長南町の活性化

## 1. 委員長あいさつ

12月半ばの最終提言書の取りまとめに向けて、体調の管理に気をつけて取り組んでください。

## 2. 検討・協議の内容

（岩瀬委員長）

長南農業のイノベーションの部会のほうからお願いします。

（西田委員）

現状と課題の中で、生産調整を5年後に廃止して自由生産を促すとともに、国庫補助金の固定部分の減額と変動部分の廃止を来年度から実施する方針を固めたとも報道されているという文面を追加しました。

また、政策の内容の中の（3）農業センターの設立と農業就労者の育成について説明を追加しました。

さらに、（4）の①中央産物生産者に特産品の開發生産を促すための支援制度を作りという文面を追加しました。

（6）として、農業と商工業の連携による新ビジネスの開発促進について説明を追加しました。

（三十尾委員）

特に説明を付け加える部分はないですが、先日行われてた長南フェスティバルの反省点や改善点等御意見があれば教えてください。

(池田委員)

農業センターの設立については、有機栽培や無農薬栽培に特化したものでなければいけないと思います。

(三十尾委員)

農業センターの実態は、経営状況の悪化から閉鎖に追い込まれているところが多いのが現状なんです。ですから、事業の規模などから考えると現実的に難しいところが多いと思います。

(石田アドバイザー)

農業センターの設立については、有機や無農薬栽培について実験的に行う程度にしておかないといけないと考えます。これをいきなり実現の政策とすることは、大きな賭けであり、事業が失敗した時のリスクが大きすぎることから、やはり実験的な政策としておかないといけないと考えます。

(岩瀬委員長)

長南町の農業には、土壌が大きくかかわっています。つまり、粘土質の土壌が稲作に適していることから、米の生産が盛んとなっているが、稲作だけでは農業は成り立たないと思います。ですから、この土壌にあった農作物の研究や開発をする実験をする場を農業センターとして設置し、その中で有機や無農薬栽培について実現に向けて研究・実験していくのがよいのではないのでしょうか？

(武田委員)

農業センターという表現ですと誤解を招く恐れがあるので、実験などの言葉を用いて修正をしたほうがよいのではないのでしょうか？

(西田委員)

次回に向けて、検討していきましょう。

(岩瀬委員長)

それでは、次に創造型産業の醸成と誘致について検討したいと思います。

(武田委員)

創造型産業の推進委員会のようなものを設立してはどうでしょうか？また、現在の長南町の中で既に動いている物の中から「あるもの探し」をするとい

うことも付け加えていきたいと考えております。

(池田委員長)

私もその意見に賛成です。いまこの町にある物を繋げていって、一つの産業になっていくこともできると思います。

(武田委員)

産業を創るということは、かなり営業をしないと進めていくのは困難であると思います。まちから外に出て行って町を売り込みに行かないといけないと思います。

(石田アドバイザー)

誘致パンフレットづくりなどやってみるのも良いかもしれません。まだ、何を誘致するのか不透明な部分もたくさんあるようなので、誘致パンフレット作りなどをする中で、方向性なども見えてくるのではないのでしょうか？

(岩瀬委員長)

それでは、子育て支援と交流拠点の整備についてにお願いします。

(長谷川委員)

前回、スポーツについて取り入れていくのも良いのではないかという意見がありました。長南町にはゴルフ場がたくさんあります。このことから、ゴルフ場と連携した育成システムみたいなものを用意して、将来プロゴルファーとして活躍できるような環境を整える取り組みなども良いと思います。

また、イベントづくりの中にもいろんな有名選手などを呼んで開催していく、プロの技を見ることによって子供達の可能性が広がっていくこととなります。

このような内容について検討をしていき、政策に加えられるようにしていきたいと考えますが、それ以外にご意見等ございましたら提供してください。

(池田委員)

現在スポーツ教室などはどんなものがありますか？

(事務局)

空手・剣道・柔道・水泳などの教室やスポーツ少年団としてミニバス・サッカー、野球チーム、柏レイソルサッカー教室（茂原のクラブチーム）、カヌ

一は今はやっていません。

(石田アドバイザー)

都市児童との交流事業(町民公募型)みたいなもので、その事業を行う場を提供するような取り組みも良いのではないのでしょうか？

(佐久間委員)

子供ゴルフ部みたいなものがあっても良いと思います。長南町は伊藤園レディースの大会も行われ、その際には女子プロゴルファーなどが練習場にきていたりするので、そのような姿を目にするだけでも違うと思います。

(長谷川委員)

そのような交流事業をとおして長南町の良いところを発信していくことによって、都会の方々が長南町に親しみを持ち、移住定住につながっていくきっかけとなる可能性はかなりあるのではないのでしょうか？

(岩瀬委員長)

それでは、今出ました意見を踏まえまして、次回に向けて検討をしてください。

つづいて、長南フェスティバルについての意見等ございましたらよろしくお願いたします。

(三十尾委員)

毎年行っておりますが、特に変わりなく行っていますが、今後の展開に向けてこのままでよいのか？また、もっと変更していくのか？御意見あれば、反省点として取りまとめ、改善していきたいと考えています。

(池田委員)

中学生の参加が無かったので、中学はバザーだけでなく子供たちが参加できるような企画がほしいと思います。

(岩瀬委員長)

フェスティバルのコンセプトは何でしょうか？また、今回の開催は事務局としては、成功裏に終わっているとお考えですか？

(事務局)

フェスティバルは、農林業祭や健康ひろば・環境ひろば・文化祭・老人クラブ物産展など、さまざまなお祭りイベントが一つの会場で集まって行うことにより、よりたくさんの方に長南町を楽しんでいただく機会を提供しております。

また、イベントの展開内容に昨年度と比べて、大幅な変更点などはないですが、お客様の来場数からすると昨年より多く感じられたことから、成功であったと考えます。

(佐久間委員)

無償配布をすると、それ目当てで、無くなると腹を立てる人もいるので、少しの金額でもいいので、お金をもらうようにしたほうが良いと思います。

(岩瀬委員長)

それでは、提言書についてですが、中間とりまとめを提出してございますが、その後の役場内での協議の結果の御意見や質問等がありましたか？

(事務局)

内部で相談しているところではありますが、1月に町長選挙があることから、具体的な事業についてはいろいろな変更箇所が出る可能性があるため、新たな町長の体制になってから協議を進めていくことになってくると思われまます。

(岩瀬委員長)

次回の会議は11月18日(月)、午後6時30分から行います。場所は、分館第一会議室になります。

午後8時30分 閉会